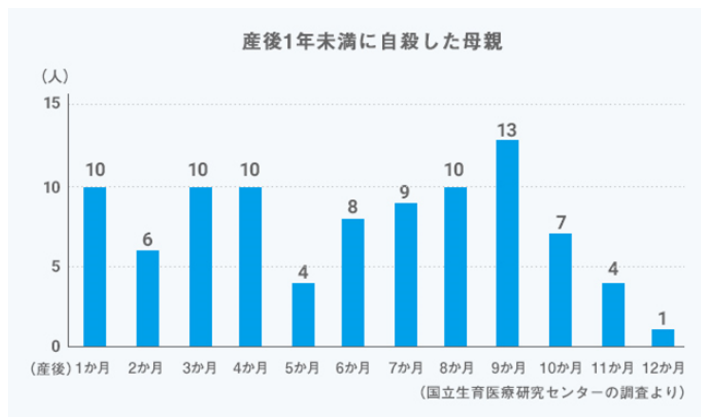


<参考資料>

図1:産後の妻の死因の一位は自殺

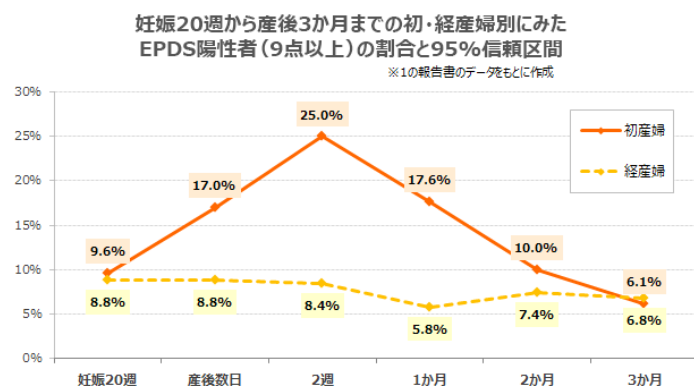


2018年9月 国立成育療養研究センター調査発表資料から抜粋

産後一年後までに死亡した妊産婦の主な死因と人数(厚生労働省 研究班資料より)

自殺 102人・がん 75人・心疾患 28人・脳神経疾患 24人・出血 23人・羊水塞栓 13人・妊娠高血圧症候群 11人

図2:産後うつのはピークは2週間から1か月



※1「妊産婦のメンタルヘルスの実態把握及び介入方法に関する研究 平成26年度 総括・分担研究報告書」

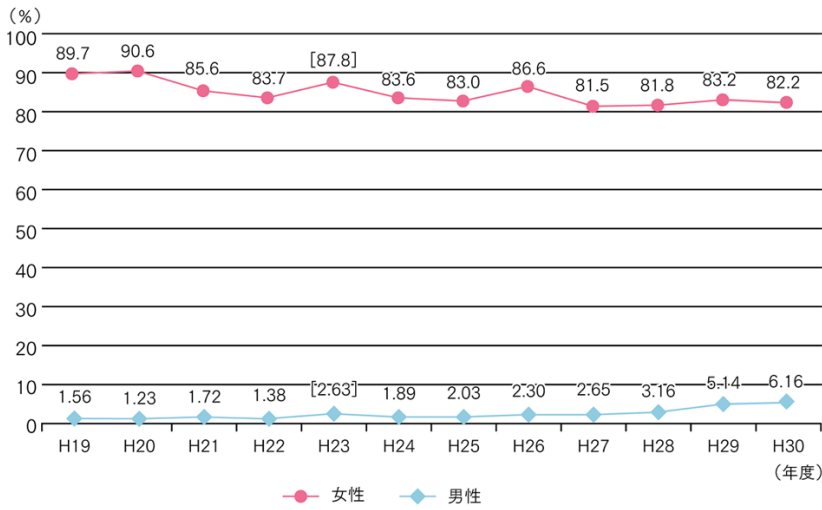
厚生労働科学研究費補助金 成育疾患克服等次世代育成基盤研究事業(健やか次世代育成総合研究事業)より

図3:新入社員男性の約8割が「育休を取得したい」



2017年 新入社員 秋の意識調査(公益財団法人 日本生産性本部の調査研究資料を参照)

図4: 男性の育休取得率は 6.16% (2018 年度)

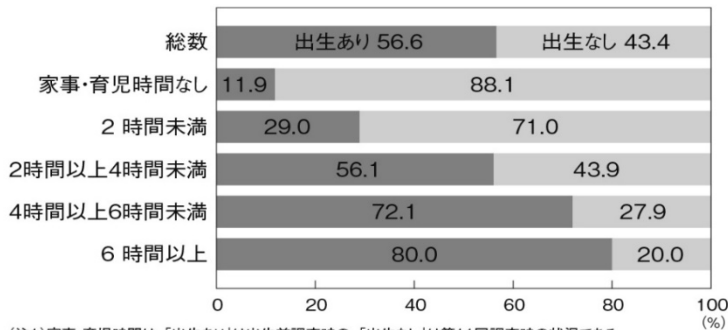


育児休業取得率の推移 / 資料出所: 厚生労働省平成 29 年雇用均等基本調査より

※平成 23 年度の [] 内の割合は、岩手県、宮城県および福島県を除く全国の結果

図5: 第一子の子育てで夫の育児時間が長いほど、第二子が生まれている

**夫の休日の家事・育児時間別に見た
この11年間の第2子以降の出生の状況**



(注1) 家事・育児時間は、「出生あり」は出生前調査時の、「出生なし」は第11回調査時の状況である。
 (注2) 11年間で2人以上出生ありの場合は、末子について計上している。
 (注3) 「総数」には、家事・育児時間不詳を含む。
 出所: 2015年7月15日付 厚生労働省 第2回21世紀成年者縦断調査(2012年成年者)及び第12回21世紀成年者縦断調査(2002年成年者)の概況をもとに作成

※ノルウェーの育休取得に関する研究論文

「Peer Effects in Program Participation†」 By Gordon B. Dahl, Katrine V. Løken, and Magne Mogstad*

<https://pubs.aeaweb.org/doi/pdf/10.1257/aer.104.7.2049>